

【 GTIN対応 Q & A 集 】

2010.7.1

| | Q (よくある質問) | A (回答内容) |
|----|--|--|
| 1 | GTIN対応のメリットは何ですか。 | 海外に輸出する場合、JAN/ITFを変更しなくてもそのまま輸出可能です。これからの流通システムEDI等の標準的な商品コードとして利用されます。 |
| 2 | GTIN対応をしないといけないのですか。GTIN対応をしないと何か罰則がありますか。 | GTIN対応は、流通業界全体の流通商品取引上の基本ルールとなります。制度改正対応として考えて、社会コンプライアンス対応の一環として捉えて下さい。もし、ずっと、対応しなくても社会的に制裁を受けることはないと思いますが、取引先からはいつまで対応しないのですかと言われることはあるかもしれません。 |
| 3 | GTINの今後の利用 | 次世代EDI(流通ビジネスメッセージ)で適用 商品マスターの同期化(GDS)での利用 電子タグ(RFID)での利用 DataBarによるトレサビリティの実現 (上記の詳細は、流通システム開発センターホームページにて http://www.dsri.jp/) |
| 4 | 新付番ルールに準拠していない商品はどうするのか | 発売品または規格変更品から適用して下さい。 上記、予定がない場合は包材等の切替のタイミングで規格変更扱いにしてGTIN化を行って下さい。 |
| 5 | JANコードを変えないといけない場合 | 商品名、ブランド名、商品銘柄・等級、味、原材料、サイズ、販売単位が異なる場合。 商品の正味量(重量、容量)が異なる場合。ボーナス・コンビネーションパック、季節商品etc キャンペーン品(シール貼り)等の時は変えない場合もあります。 |
| 6 | ITFコードを変えないといけない場合 | 集合包装の単品の入数が異なる場合(外箱/内箱)。小分包装単位の小分包装形態が異なる場合。 集合包装の荷姿・包装の種類が異なる場合(「荷合せ品」「バンド掛」)、「半載品」) 軽微な商品変更の場合GTINを変更しないのが原則です。 ただし、社内システム内で必要とされる場合、ブランドオーナーの判断で変更も可能です。 |
| 7 | JANバーコードを14桁に変更にするのか | JANバーコードは 現行のまま (13/8桁)です。バーコード下の数字表記も(13/8桁)で良い。 「単品GTINとして(EDI上)は14桁に合わせます」 |
| 8 | GTINコード対応する場合に、単品JANは変えないといけないのですか | JANコードは変えなくて良いが、規格変更扱いにして、「統一商品コード」は変更して下さい。 切替後には、同一取引先には、旧/新の商品の納入が逆転しないようにして下さい。 |
| 9 | JAN 8桁でも、ITF 14桁のインデックスは1桁なのか | JAN 8桁の場合でもインデックスは1桁のみです。 「インデックス1桁」+「0000」+「JAN 8桁上7桁」+「C/D」 |
| 10 | 今のスキャナで、ITF 14桁もITF 16桁も読めるのか | よほど古いスキャナでない限り、読めるはずですが。 但し、POSレジのスキャナで読めてもシステムが対応できていない場合もあります。 |
| 11 | ケース用ITFは印字位置が決まっているが、ボール用ITFの印字位置は？ | ケース用ITFは固定式読取装置用に外箱の下段32mm、右端19mmと決まっています。 ボール用ITFは印字位置は決まっていますがスキャンしやすいところがベターです。 |
| 12 | 何故、ボールは単品JAN表記では駄目なのか | ボールは集合包装であり、GTINルール上、ITF表記が基本である。 ただし、ボールで消費者に販売する場合はボール用JANを表記します。 (ボール用ITF表記の場合、ITF規格0.25倍で表記して下さい) |
| 13 | ボール用JANを表記した場合に、ボールITF表記は必要なのか。 | 1つの包装形態には1つのGTINしか認められていません。ボール用JANとボール用ITFはコードが同一となり単品JANとは不一致型となります。 ボールJANを表記すれば、ボールITF表記は不要です。 |

【 GTIN対応 Q & A 集 】

| Q (よくある質問) | | A (回答内容) |
|--------------|--|--|
| 14 | 2010年4月から、ITF16桁は使えなくなるのか | 原則として、メーカーからのITF16桁での出荷はお勧め出来ません。流通している在庫も出来るだけ早期になくすよう心がけて下さい。 |
| 15 | 中小卸様の場合、システム対応が遅れる場合もあるので、外箱に、ITF16桁とITF14桁の併記をしたいのですが | 外箱に、ITF16桁とITF14桁の併記はありません。(ITF16桁を読んでいるのであればITF14桁も読めるはずです) |
| 16 | 何故、菓子業界はJANアイテム一致型を推奨するのか | 卸・小売業のほとんどの企業でITFからJANを認識しており、不一致型だと変換対応等大きな混乱が予想されるからです。(当面の対応です。) |
| 17 | 菓子業界ではJANアイテム不一致型で行っていけないのか | 卸・小売業の確認をとって下さい。将来的には不一致型の採用もありえます。また、内箱JAN/ケース用JANを採用する場合は不一致型となります。符合せGTINは、バーコード表記しないので、不一致型で行うことも可能です。 |
| 18 | ボールに単品用JANの表記をしてはいけないのか | GTINの原則上は表記してはいけません。しかし、当面は流通業での混乱を避ける為、ボールの側面に「ボール用ITF」、天面(または底面)に「単品用JAN」を表記可能とする |
| 19 | ケースに単品用JANの表記をしてはいけないのか | GTINの原則上は表記してはいけません。しかし、当面は流通業での混乱を避ける為、ケースの側面に「ケース用ITF」、天面に「単品用JAN」を表記可能とする |
| 20 | ボール/ケースへの単品用JANの表記はしないとイケないのか | メーカーの判断において、単品用JANの表記をしないのは問題はありません。 |
| 21 | ケース用JANを表記した場合に、ケース用ITF表記は必要なのか。 | ケース用JANとケース用ITFはコードが同一で単品JANとは不一致型となります。ケース用ITFは高速ソータ等の物流システム運用上、必要と思われます。ケース用JANを上段に、ケース用ITFを標準位置(下段)に表記して下さい。 |
| 22 | ケース用ITFの印字方法は? | ケースの4側面には、極力、ケースITFを表記して下さい。 長側2面には、定位置(下端:32mm、右端:19mm)に、(1.0/0.8/0.7/0.625倍)で表記、 短側2面には、定位置に、(1.0/0.8/0.7/0.625倍)で表記出来ない場合は、 短側面右上段位置(上端:15mm、右端:15mm)に(0.625倍以上)で表記する。 短側2面への印字位置優先順位(「右下固定位置」「右上段位置」「フリー位置」) |
| 23 | ITF14桁のPI「パッケージ・インケタ」の付番方法は? | JANアイテム不一致型の場合は、[PI=0]のみです。 JANアイテム一致型の場合の標準例としては 単品用:「0」、ボール用:「8」、ケース用:「1~7」、です。 |
| 24 | GTIN[ITF]の再利用は4年間出来ないのか。 | 原則として、4年間は同一のGTINコード(ケースGTIN含む)の再利用は出来ませんが、菓子の場合、賞味期限が短いので流通在庫がないのを条件に、再利用もしかたがないと考えます。 |
| 25 | 卸としては、業界推奨のJANアイテム一致型及びボール商品のPI=8を前提としてシステム対応すれば良いか | 輸入商品、食品主体としたメーカーの動向から、卸としては、不一致型への対応、PI=8を前提としない全業界を意識したシステム対応が必要です。 |
| 26 | 商品マスター統一登録申請書のGTIN対応 | BL(内箱)GTIN : ボール用ITF/JAN, CS(外箱)GTIN : ケース用ITF/JAN 入荷単位CS数 : 符合せ品発注単位ケース数 拡張ITFコード : 符合せGTINで取引する場合(14桁記入) |
| 27 | 商品カタログのGTIN対応 | BL(内箱)GTIN : ボール用ITF/JAN, CS(外箱)GTIN : ケース用ITF/JAN 入荷単位CS数 : 符合せ品発注単位ケース数の表記 符合せGTIN : 符合せGTINで取引する場合表記 |

【 GTIN対応 Q & A 集 】

| Q (よくある質問) | A (回答内容) |
|---|---|
| 28 GTIN対応後のEDIでの発注方法はどうするのか (統一商品コードは使えなくなるのか) | e-お菓子ねっとでは統一商品コード(多業界的にはプライベートコード)で、包装単位(ケース/ボール/パ)の数量で発注が従来通りに出来ます。 将来的には、取引単位でのGTIN発注を考慮して下さい。(ケース/ボール発注:ITF,単品(袋)発注:JAN) 荷合せGTINでの発注は、梱包単位となるので、 ケース数 = (発注ケース数X入荷単位CS数) とする |
| 29 EDI上のGTINコードの利用はすぐに可能か | GTINは、EDI取引上の標準商品識別コードとなりますが、取引先へのGTIN対応の連絡確認が必要です。GTIN対応後のeお菓子ねっと発注は、統一商品コード/JAN13桁/JAN8桁/ITF14桁/GTINコードで行って下さい。(ITF16桁は使用しないで下さい) GTINコードは、eお菓子ねっと上では、商品コード識別区分=6、コード長は14桁です。 |
| 30 荷合せ品での出荷は出来なくなるのか | 荷合せ品での出荷は可能ですが、包装形態の捉え方が変更となります。 今迄、10袋入(1ボール)X3合せ=1ケースの荷扱いが、GTINでは10袋入(1ケース)X3合せ=3ケースとなります。伝票表示(梱包数)変更・物流費計算変更・販売実績管理対応が必要です。 |
| 31 荷合せ品用GTINはバーコード印刷するのか | 荷合せ品のバーコードはケース用ITFをケース毎に表記します。 荷合せ品用のバーコードを表記する場合はケース用ITFを隠さないといけません。 運用上、現実的ではないので、荷合せ用ITF表記は不要とします。 荷合せGTINは表記しないので、「不一致型」での運用も可能となります。 |
| 32 荷合せGTINはどう利用するのか | 荷合せGTINは、当面、EDI上での利用にのみ限定されます。 メーカー卸間で、荷合せ単位で取引を行いたい場合に利用します。 荷合せGTINで発注が来た場合にはメーカー側は発注ケース数に荷合せ数を乗算して出荷します。 |
| 33 荷合せ品の従来品とGTIN対応品はどう区別していますか | 荷合せ品の従来品は3ボールで1ケースとカウントしますが、GTIN対応品は、同じ形態でも3ケースで1合せとして扱います。 菓子業界では当面カルトンに「GTIN」マークを表記して、目視による区別を行います。 |
| 34 荷合せGTIN品の荷合せケース倍数以外の発注対応はどうしていますか | 荷合せGTIN品の発注単位以外の発注(荷合せ発注ケース数が2ケースの時、1/3ケース発注)の時の対応は原則として卸様に発注単位ケース数での発注を要請します。 その後の対応は、切上げ/切捨て/全欠品かの対応はメーカーによってマチマチとなります。 |
| 35 荷合せGTIN品の出荷対応はどうしていますか | 菓子業界では、荷合せ品が他業界に比べて非常に多い為に以下の対応を推奨します。 包装内容:ケース用の"10X1"の上段に、荷合せ用の"(10X2)"を表示する 明細のケース数の上段に"(2)"(梱包数)を、ボール数の上段に"<1>"(梱包端数)を表示する ケース合計欄上段に、(荷合せ品梱包数と通常品ケース数の合計数)"(20)"を表示する ボール合計欄上段に、(梱包端数合計とボール数の合計数)"<3>"を表示する |
| 36 ボール・シュリンク品のGTIN対応はどうしていますか | 単品JANコードが見えるので、ボール用のGTINは表記しないのが一般的です。 ただし、ボール用GTINは設定するかどうかはメーカーによって異なります。 |
| 37 複数品セットのGTINの付番はどう行っていますか | 一般的には、複数セット品としての単品JANを設定します。 そのJANに対する一致型のボールGTIN/ケースGTINを付番します。 |